

出たところ勝負の自論展開の話しかできず、m(_ _)m

M大学の先生から、専攻コースの1年生に独自セミナーとして外部の専門家から来年3月まで6回話しを聞く機会の授業を設けたので、その内の1回をボランティアで引き受けてくれないかと声をかけられていた。

自分が専門家かどうか分からないが、暇人をしているので「どうせ引き受けるなら…」と、月一回の先生主宰の自主ゼミに参加しているK君も誘い、初回のセミナーに行ってみて話してきた。

独自セミナー初回ということでコースの学生たちの興味からか、1年生だけでなくコースの2～4年生と大学院生等も聴講するとかで、教室には30名強の学生たちと先生方も。

1年生少数が対象と思って出かけただけに驚いたが、そこは「出たところ勝負！」と腹をくくって話してきた。

セミナー初回が、専門的話が少なく、また、自論展開の勝手に脱線が多い話だっただけにm(_ _)m、2～4年生等のセミナーへの興味が薄れ、次回からの他の外部の先生方の話を聴講する学生が減らないかと心配で、そうならないように祈りつつ帰宅した。

後刻、先生から次のような嬉しいメールをいただき、ひと安堵。

「今日はお話をありがとうございました。

あの後学生と話す機会があって、学生が口々に今日は本当に良かった…と話をしていました。私もそんな反応が聞けて嬉しく思います。

今後とも、機会のあるごとにお話をお願いするかも知れませんが、これに懲りず何卒よろしくお願いたします。」

もちろん、厚かましく「暇人してますので、こんなマイペースの話しかできないですがそれで良ければ、いつでも何なりと」と返信した(*^_^*)。